

# ゆめ織る

万博と織物の意外な関係

2024 9.17 tue - 2025 12.25 thu

川島織物文化館 京都市左京区

EXPO

PARIS  
to  
OSAKA

地球規模でさまざまな課題に取り組むべく、世界中からたくさんの人やモノが集まる「万国博覧会」。世界中の国や企業が「未来社会の実験場」として、知恵やアイデアを持ち寄り、来場者に驚きや感動を与えてくれます。

川島織物セルコンは、1889年のパリ万博で初めて国際的な博覧会へ出展し、以来、複数回にわたり国内外の博覧会に出展してきました。モノづくりや市場調査、新商品販売など、苦勞を重ねながらトライを続けたのは、来場者に夢を提供し、未来への希望を作りたいという思いからでした。

本展では、川島織物文化館が所蔵する万博関連の資料をもとに、明治期の万博にタイムトラベルし、約1年半にわたって万博と織物の意外な関係を紹介していきます。第一弾は、明治期の万博について、また、1893年のシカゴ万博のエピソードを展示します。大阪・関西万博とあわせ、万博の今と昔、万博史の一端としてなど、当展が万博の楽しみの一助となれば幸いです。

## 勝負に出た巨大織物

Episode1: Expo 1893 Chicago —— “推し活”されたい! 二代川島甚兵衛と2つの織物



ゆめ織るEXPO — 万博と織物の意外なつながり — 1889パリ から 2025大阪・関西

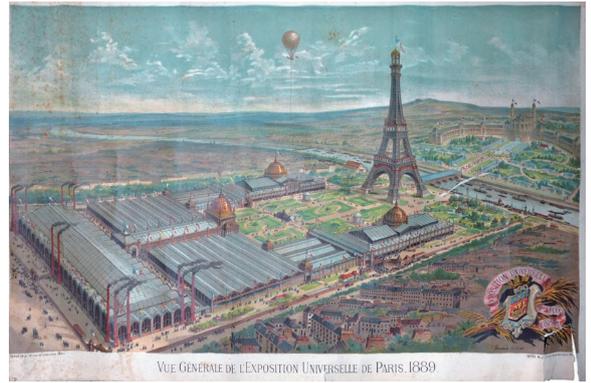
開催期間 2024年9月17日(火)~2025年末  
 開館時間 10時00分~16時30分(入館は16時まで)  
 休館日 土・日・祝祭日、夏期、年末年始 (川島織物セルコン休業日)  
 入館料 無料 (入館には事前にご予約が必要です)

\*展示内容は事前の予告なく変更する場合があります。臨時休業する場合があります。事前にWebサイトでご確認下さい。

## こころ躍るデザイン

Prologue: 万博のはじまり

明治期の博覧会の様子



パリ万博(1889)ポスター

日本が政府として初めて出展した1873年のウィーン万博、会場にエッフェル塔が建設された1889年のパリ万博。明治期に開催された万博のポスターや写真などを紹介しています。

二代川島甚兵衛が、シカゴ万博(1893)に出品したのは、約4m×6mの大きな綴織壁掛「日光祭礼」。日光東照宮の大祭である百物揃千人武者行列の様子が表現されています。

人々の衣装や表情まで詳細に描かれており、なぜここまで頑張ったの?と疑問を感じるほどですが、当時の日本には“日本の工芸品を美術品として世界に認めさせる”という大きな目標があり、そのためには絶対的な評価を得る作品が不可欠だったのです。



綴織壁掛  
「日光祭礼」原画  
/ 田村宗立

## 川島織物文化館

KAWASHIMA TEXTILE MUSEUM

〒601-1192 京都市左京区静海市原町 265  
 TEL: 075-741-4120

### ■ アクセス

- 電車・バス
  - 京都市営地下鉄「国際会館駅」より 京都バス(50/52系統)「小町寺」下車 徒歩約5分
  - 叡山電車「市原駅」下車 徒歩約7分

- お車
  - 京都市営地下鉄「国際会館駅」より 約15分
  - 京阪電車「出町柳駅」より 約25分
  - 京都駅より 約40分

見学は事前にご予約が必要です

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>



川島織物文化館Web



見学ご予約

